

岐阜県動物愛護推進協議会
委員各位

協議会における議題の提案について

一般社団法人岐阜県動物愛護ネットワーク会議
代表理事 糸田 恵子

表題の件に関しまして、協議会の中で、以下の議題を検討したく、ご提案いたします。

議題

多頭飼育崩壊に関する獣医療費支援について

議題の背景

県内では、多数の多頭飼育崩壊が発生しております。多頭飼育崩壊では、多額の医療費が必要になります。また、多頭飼育崩壊はその当事者が生活困窮者であることが殆どで、当事者本人が費用負担を行うことができないことがほとんどです。

当会会員が、保健所、社会福祉関係機関、自治会関係者等からの相談を受けて、支援に入るとはしばしばあります。すべての事例で不妊去勢手術が必要となりますが、その獣医療費は、支援に入る個人や団体が負担していることが常になっています。

こうした背景を受けて2023年9月-11月にかけて実施された、生活困窮者ペット飼育問題を考える円卓会議では、動物関係団体だけでなく、社会福祉関係機関の多数の参加をいただき、意見交換を行うことができました。また、同会議に参加していただいた若井敦子県議より、厚生環境委員会より、人と動物の共生にかかる予算の要望を知事に行い、推進するとして回答を頂いているとのことご報告いただいております。本協議会にて、この予算の用途について確認させていただきたいと考えております。

また、当会会員らボランティアの費用負担を軽減すべく、岐阜県健康福祉部生活衛生課にて、どうぶつ基金の行政枠の申請についてご検討いただいた旨、お伺いしております。どうぶつ基金の行政枠は、他の助成金と併用ができないことで、実施する獣医師に負担が大きく、実施しにくいという面がある把握しております。県の独自予算での医療費の支援を可能にする制度設計について協議会の場で検討をお願いしたいと考えております。

本協議会では、このような背景の上で、今後の多頭飼育崩壊に関する医療費支援について、意見交換をさせていただきたく、議題を提案させていただきます。